



未来創造科 （5年生）における実践事例

教育学部附属義務教育学校前期課程 教諭 竹吉昭人

本校の未来創造科のテーマ「住みたいまちプロジェクト～ふるさとの明日を創ろう～」のもと、5年生では「松江の魅力を発信しよう」をテーマに取り組んできました。

1学期には、保護者の方へインタビューを実施しました。保護者の方の出身や、子育て、生活などの様々な視点からお話いただき、松江の豊かな自然や暮らしやすさなどの良さや、交通の便やレジャーや商業施設の充実といった課題を発見することができました。

2学期以降には、松江の魅力を自分たちの身体で感じる活動を行いました。一つ目は松江城を中心とした周辺の散策です。まず全員で堀川遊覧船に乗り、川辺から松江を見渡しながらかんづから松江の歴史やスポットなど伺いました。その後は、松江歴史館や小泉八雲記念館など、グループ毎に自分たちの興味に添って散策し、改めて松江について知る機会となりました。二つ目は、松江の食文化である宍道湖七珍をお弁当にして味わう活動です。松江市内の日本料理店「馳走 かへる」の小原さんのご協力のもと、普段なかなか味わうことのできない七珍を、旬などの問題で手に入りにくい食材はそれに近いものを用いていただきながら調理していただきました。日本の、松江の食文化に実際に触れる貴重な機会となりました。

3学期には、学習のまとめとして島根県の姉妹都市、中国・寧夏の銀川第二十一小学校の5年生に向けてオンラインで紹介しました。2学期からビデオメッセージでの交流をはじめ、3学期にオンラインで交流会を開催しました。調べてきたことをグループに分かれ、自分たちでスライドにまとめて発表をしました。海外の小学生に松江の魅力を発信するという貴重な機会をいただき、私たちのふるさと松江を愛する心や誇りを高め、ふるさとの明日を創るために自ら動き出す力を育むことができたのではと考えています。

